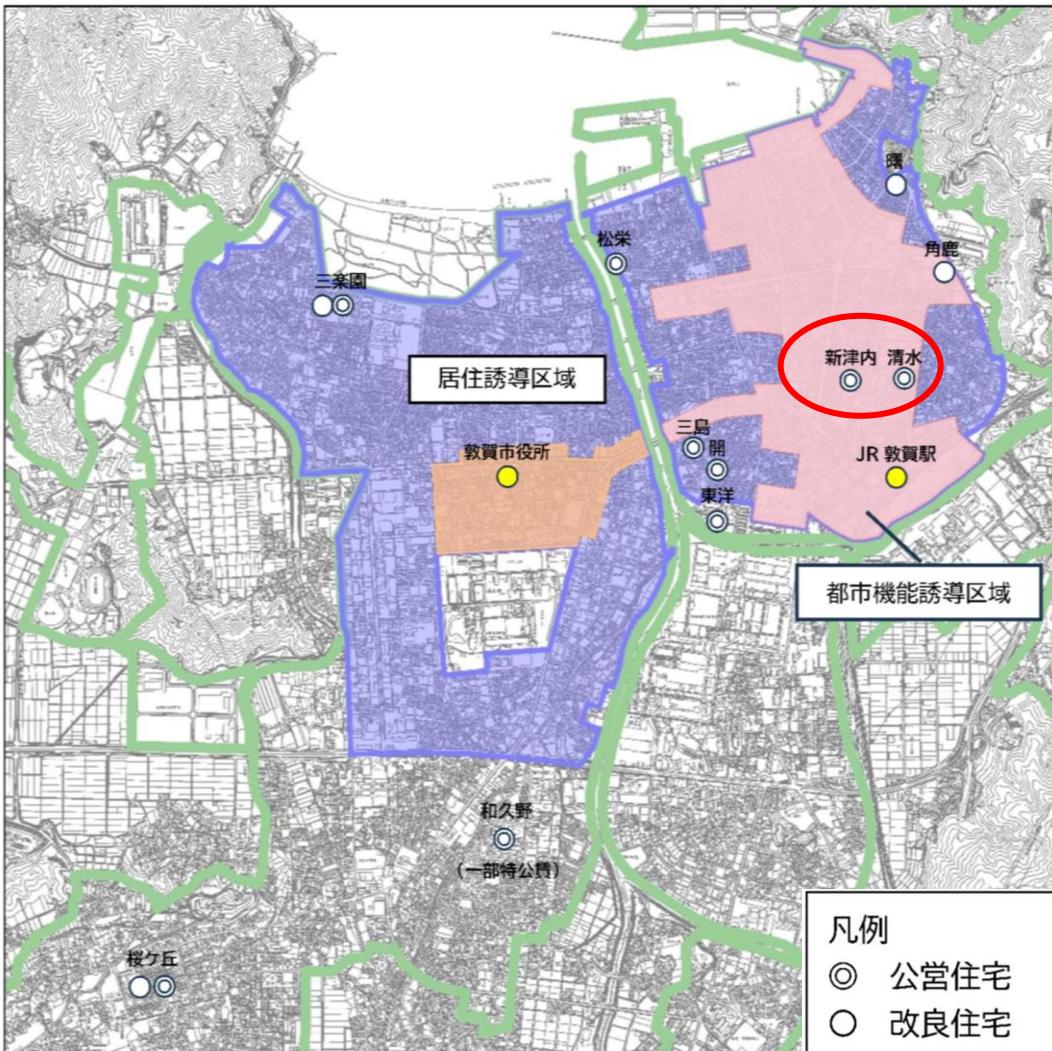


敦賀市公営住宅等長寿命化計画の改定について

市営住宅位置図



◆敦賀市立地適正化計画コンパクトシティ形成のため居住誘導区域内へ集約

- ・生活利便性・福祉サービスの向上
⇒公営住宅を生活利便施設や公共交通にアクセスしやすい区域に配置することで高齢者や子育て世帯の生活の質が向上する。

◆多様な世帯が共生できる地域づくりのための分散配置

- ・地域の偏り・孤立の防止
⇒複数地区に分散配置することで特定の地域への高齢者世帯等の集中を防ぐ。
- ・多世代・多様な交流の促進
⇒子育て世帯、高齢者世帯・単身者などが同じ地域で生活することで日常的な助け合いや交流が生まれる。
- ・安全・安心な地域環境の形成
⇒居住者の多様化により、地域全体の見守り力が高まり、防犯や災害時の助け合いなど、安心して暮らせる環境づくりに寄与する。

◆南地区での代替地の確保が困難

- ・居住誘導区域内は既に市街化が進んでおり、未利用地が少ない。
- ・地元住民や地権者の理解・合意形成に時間を要し、調整が長期化するおそれがある。